

第1回福島12市町村の将来像に関する有識者検討会の開催について

原子力災害の避難者の方々が今後の生活の見通しを検討するための環境を整えるため、避難指示等の出た12市町村の将来像を中長期かつ広域的な視点から国が地元とも連携して作成することが重要であります。

こうした難問に対し、自由な発想や高い見識を有する各方面の専門家の意見をもとに、今後の生活の希望となる将来的な自立に向けた夢のある将来像を検討することが必要です。

このため、この度、復興庁は、復興大臣の下、有識者検討会を立ち上げ、福島12市町村の将来像の検討を開始することとしましたので、お知らせいたします。

1. 日時・場所

- (1) 日時：平成26年12月23日 17:00～19:00
- (2) 場所：福島ビューホテル「吾妻」（福島県福島市太田町13-73）

2. 開催要領・委員

別添1に記載のとおり。

3. 議題

- ・福島県の計画等の報告
- ・各市町村の計画等の報告（広野町、富岡町、川内村、双葉町、浪江町、葛尾村）
- ・検討の視点
- ・その他（イノベーション・コースト構想の説明など）

本件連絡先：

（復興庁原子力災害復興班） 担当：松本、黒田、松田、鈴木
電話：03-5545-7418

平成 26 年 12 月 17 日
復興大臣決定

「福島 1 2 市町村の将来像に関する有識者検討会」 開催要領

1. 開催趣旨

原子力災害の避難者の方々が今後の生活の見通しを検討するための環境を整えるため、避難指示等の出た 1 2 市町村の将来像を中長期かつ広域的な視点から作成するとともに、その将来像の実現に向けた課題を整理して、提言を取りまとめる。

2. 主な検討事項

- (1) 福島 1 2 市町村の中長期かつ広域的な視点の将来像の作成
- (2) 当該将来像の実現に向けた課題及び取組の整理 など

3. 検討会の委員

- (1) 大臣の指名により、検討会の委員構成は別紙のとおりとする。
- (2) 大臣の指名により、座長 1 名及び座長代理 1 名を置くことができる。

4. 開催回数

来年夏頃まで複数回開催。

5. 議事の公開

- (1) 検討会出席者の自由闊達な意見交換の妨げとならないよう、議事は非公開とする。ただし、議事内容の透明性を確保する観点から、検討会終了後、速やかに議事要旨を作成し、公開する。その際、議事要旨は発言者が特定されないように作成し、座長の了解を得て公開する。
- (2) 検討会の配付資料については、原則公開とする。ただし、資料の内容を踏まえ非公開が適当と考えられる配布資料については、事務局が座長（配布資料が事務局以外の者から提出されたものである場合には座長及び資料提出者）と相談して、対応を決定する。

委員名簿

(座長)

大西 隆 豊橋技術科学大学学長
(都市工学、日本学術会議会長、
東日本大震災復興構想会議委員)

(座長代理)

家田 仁 東京大学・政策研究大学院大学 教授
(交通・都市・国土学)

内堀 雅雄 福島県知事

大山 健太郎 アイリスオーヤマ(株)代表取締役社長
(仙台経済同友会代表幹事、復興推進委員会委員)

高島 宏平 オイシックス(株)代表取締役社長
(「新しい東北」官民連携推進協議会会員)

中村 良平 岡山大学大学院教授・経済学部副学部長
(地域公共政策、日本経済研究所理事、
経済産業研究所ファカルティフェロー)

松永 桂子 大阪市立大学大学院創造都市研究科准教授
(地域産業論・地域社会経済)

山名 元 京都大学原子炉実験所教授
(原子力損害賠償・廃炉等支援機構副理事長)

福島12市町村の将来像検討の方向性

- 将来像の実現に向けた、当面(2020年まで)・今後(30～40年後)の課題整理
- 有識者検討会を開催、県・市町村と連携し、将来像を提言
- 地域再生のモデルとなるような総合的な対策で、賑わいを取り戻す

将来像の検討のイメージ

＜当面の課題＞
「早期に暮らせるように
するための方策」

既存計画や人口・線量見通しを整理し、早期復興可能な地域における広域的課題を抽出、検討

2020年の
具体的なビジョン

(課題解決のための施策のイメージ)

- 広域インフラ整備、集約(道路、鉄道、物流等)
- 産業振興(廃炉、ロボット、再生エネルギー等)に加え、1次産業や、地域の強みを活かした新産業等)
- 健康・医療(病院拠点、人材確保等)
- 住環境整備(コンパクトシティ、「二点居住」の考え方等)
- 教育、人材育成(出口まで見据えた教育体制・方針)
- 観光(新観光資源・ルートの開発、PR)

＜今後の課題＞

「子や孫の世代に
繋ぐための方策」

現状では帰還困難な地域を含め、将来に繋ぐために継続実施すべき課題を整理、検討

30～40年後の
将来コンセプト

「今後の生活の希望
となる将来像」

今後の人口動態、産業構造を踏まえた、将来的な自立に向けた地域経済・社会形成のための夢のある将来像

- 住居・生活・コミュニティ
 - 産業・雇用
 - 教育・文化
 - 行政サービス
- 等